

## SDGs (SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS) とは

2015年の9月の国連サミットで採択された、「持続可能な開発 2030 のためのアジェンダ」にて記載された、2030年までに持続可能でより良い世界を目指す国際目標です。



左のような17の目標が設定されています。本研究所では、昨年度より、「14 海の豊かさを守ろう」と「4 質の高い教育をみんなに」を意識して、海洋教育を進めています。

既に、市内のいくつかの小学校では、SDGsについての取組を行っています。「13 気候変動に具体的な対策を」について、全校集会で、児童はもちろん、保護者に訴えかけたり、実際に海岸のゴミについて調査したりする試みが行われています。

三浦市の学校教育全体構想でも、「育てたい三浦の子ども像を育むための9つの具体的な取り組みについて、SDGsの視点を踏まえて推進する」と明記しています。今後、この通信でも、SDGsについての情報を発信していきたいと思っています。



小網代観光振興活性化検討協議会が、小網代湾にワインを沈めて熟成させる試みを行いました。

ワインの瓶を、小網代湾の深さ20mの海に、約7か月沈めました。約180本沈めたそうです。写真はそのうちの1本です。

ご覧の通り、瓶には、貝殻等がついています。普通よりも早く熟成し、深い味わいになっているそうです。

三浦市の教員OBの角野先生が、初声で焼いている三浦焼に、子どもたちが浜揚げに使った後のアコヤガイを利用する試みが行われました。小パール隊に貝殻を提供してもらって、試行錯誤を繰り返していたのですが、出来上がった作品が写真のぐい飲みです。写真で、緑色っぽく見えるところが、貝殻が変色した部分だそうです。貝殻と榎の木の灰とを混ぜて、うわぐすりにした作品だそうです。



小パール隊によれば、三重県伊勢市の「真珠新聞」が、先日行われた名向小学校の真珠の浜揚げと核入れについて取材に来たそうです。

ここ2年ほど、真珠の本場の三重県では、アコヤガイが大量に死んでしまう状況が出ていることもあり、真珠の授業がほとんど行われていないそうです。

名向小学校の子どもたちは、たいへん貴重な体験をさせてもらっていることを再認識しました。

みうら学・海洋教育に関するお問い合わせは、三浦市教育委員会 882-1111まで